

# 書道博物館で不折を感じる

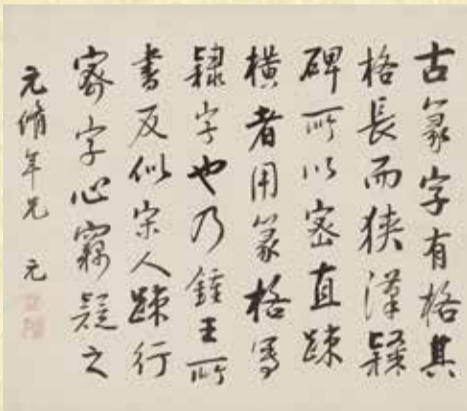
## 企画展「みんなが見たい優品展 パート18 中村不折コレクションから 清朝碑学派の書」

6月12日(日)  
まで

清時代の後期、多くの学者や書家たちは、古代の石碑や青銅器等の文字に注目し、新たな境地を見出しました。金石資料に書のよりどころを求めた人たちを碑学派と称します。今回の展示では、清時代に碑学を担った人たちの書画や、当時注目された石碑の拓本等を、中村不折のコレクションから紹介します。また、碑学派の影響を受けた中村不折の書もあわせて展示しています。



石鼓文-安国本一  
戦国時代・前5～前4世紀



行書文語軸 阮元筆  
清時代・19世紀



隸書七言聯 何紹基筆  
清時代・19世紀



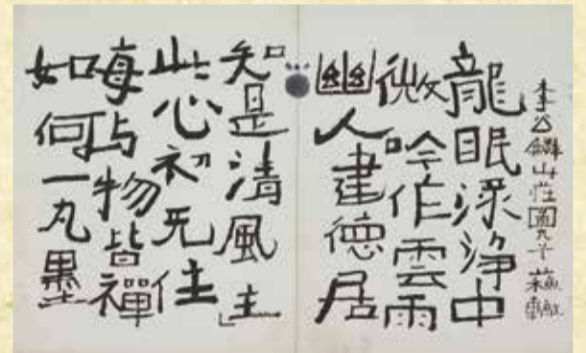
秋園妙趣図軸 吳昌碩筆  
清～民国時代・19～20世紀



張猛龍碑  
北魏時代・正光3(522)年



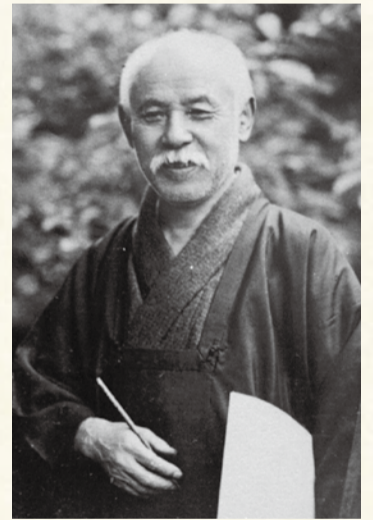
花卉図冊 吳熙載筆  
清時代・同治9(1870)年



『龍眠帖』 中村不折筆  
明治41(1908)年

### 中村不折ってどんな人？

慶応2(1866)年、江戸の京橋に生まれる。23歳の時に画家を志して上京し、小山正太郎に師事。明治28(1895)年、30歳の時に正岡子規とともに日清戦争の従軍記者として清国に渡り、中国の書に触れる。明治34(1901)年から4年間パリで絵画を学ぶ。帰国後、書のデビュー作となる『龍眠帖』を出版。その後、絵画や書の作品を発表し、太平洋画会を代表する洋画家として不動の地位を獲得する。昭和11(1936)年、生涯にわたって収集した歴代の書の名品を公開するために、自宅の邸内に書道博物館を創設。



中村不折  
(1866～1943)

### こんなところにも不折の作品！

中村不折は夏目漱石の『吾輩ハ猫デアル』の挿絵や島崎藤村の『若菜集』の表紙を手がけました。ほかにも、和菓子や日本酒の商品パッケージ、看板の文字等に不折の書が使われています。



夏目漱石  
『吾輩ハ猫デアル』の挿絵  
中村不折筆



島崎藤村  
『若菜集』の表紙  
中村不折筆

### 書道博物館の利用案内

- ▷所在地 根岸2-10-4※アクセス方法等詳しくは、下記二次元コードをご確認ください。
- ▷開館時間 午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで)
- ▷休館日 月曜日(祝休日の場合は翌日)
- ▷入館料 一般500円、小中高生250円  
※未就学児、障害者手帳をお持ちの方とその介助者は無料
- ▷問合せ 書道博物館 TEL (3872) 2645



広報「たいとう」5月5日号 (No.1300) の発行日は、5月6日(金)になります

区の世帯と人口

【4月1日現在】  
※住民基本台帳による

世帯数 125,157世帯 (前月比+713世帯)

人口 204,431人 (前月比+522人)